

講座①

支援の現場から考える、 新しい若者支援施策とは

2026年7月4日（土）

公益財団法人 鉄道弘済会

第62回社会福祉セミナー

濱田江里子

（立教大学コミュニティ福祉学部准教授）

本講座の趣旨

◆テーマ

支援の現場から考える、 新しい若者支援施策とは

- ・ 若者支援施策は就労支援を皮切りに、包括的な生活支援と拡大してきた。
- ・ 一方で、支援の対象からこぼれ落ちる若者の存在や、家族との葛藤、地域とのつながりの希薄化など、現状の施策では対応が難しい問題も顕在化している。
- ・ 本講座では、若者支援施策の変遷と現状を整理し、多様な立場からその成果と課題について報告してもらい、若者の想いを尊重した施策の方向性について多角的に考えたい。

本講座の内容

◆パネリスト

- ① **ブローハン聡氏**（一般社団法人コンパスナビ代表理事）
- ② **富永みずき氏**（認定NP0法人カタリバ キックケプログラム事業部事業責任者）
- ③ **谷口仁史氏**（NP0法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事）

- 1. 事業紹介・実践紹介
- 2. 実践の中から見える若者、若者支援施策の課題
- 3. 自治体と民間団体との役割分担

→報告（各25分）後、論点整理（10分）、討論（30分）、総括（10分）

本講座で話したいこと

- ◆ 実践現場から見える若者支援における課題
 - ◆ 民間団体としてできること／できないこと
 - ◆ 行政とどのような関係をつくってきたか／今後つくっていききたいか
 - ◆ こども家庭庁が設立されてからの若者支援のあり方
- 若者の声や想いを尊重した支援施策を実現するには、何が必要か？
ボトムアップな政策づくりに向けて、私たちには何ができるのか？